

「人生のやる気デザイン」研究部会（第27回）

日時：2022年9月26日（月）13:00～15:45

場所：オンライン

出席：渡辺弥生・倉住友恵・杉本希映・中井大介・中谷素之 各兼任研究員
山口和人所長・吉久知延・金沢千秋・泉水里香（野間教育研究所事務局）

欠席：榎本淳子兼任研究員

内容：（1）渡辺研究員報告：感情リテラシーの発達研究について

- ・幼児期から児童期の子どもを対象に、同世代の子どもたちの「表情」「声」「仕草」による感情理解の発達過程を明らかにしたい。そのために新しい実験刺激材料を準備し作成した経緯を報告
- ・新しい実験刺激材料：7歳男子と8歳女子に、喜び・怒り・嫌悪・驚き・悲しみ・恐怖の6感情を表現してもらい、撮影および収録

（2）中谷研究員報告：動機づけ研究のトレンドをたどり、最新の研究動向やテーマを知る

- ・代表的な定期刊行学術雑誌 ADVANCES IN MOTIVATION AND ACHIEVEMENT（動機づけと達成の進歩）(Emerald Publishers) を紹介
- ・その雑誌の最新刊（2021年刊行）についてさらに紹介：Yoder, N & Skoog-hoffman, A. (Eds). 2021 Motivating the Self Forward Through Equity (Advances in Motivation and Achievement, 21) 2021/11/25
公正を通じて SEL（社会性と情動の学習）を動機づける

（3）杉本研究員報告：「好奇心」のマイナス側面を探る研究

- ・The five-dimensional curiosity scale についての論文レビューを紹介：
 1. Kashdan et al. (2018) The five-dimensional curiosity scale: Capturing the bandwidth of curiosity and identifying four unique subgroups of curious people, *Journal of Research in Personality*, 73, 130-149.
 2. Kashdan et al. (2020) The Five-Dimensional Curiosity Scale Revised (5DCR): Brief subscales while separating overt and covert social curiosity, *Personality and Individual Differences*, 157.

・次回研究会 10月24日（月）13:00～

・次々回研究会 11月28日（月）13:00～